

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 男女で異なる思考回路
- 2 対象 1年生
- 3 専門医 笹川 五十次 医師
(山形徳洲会病院)
- 4 実施月 10月
- 5 内容(キーワード)
性差、男性脳、女性脳、SOGI
LGBTQS、他者理解



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*身体的な性差のほかに、思考や感覚にも性差があることに気づかせ、多様な性について理解を促す内容であったため。多様性について最新の研究成果をもとに生徒のみならず教職員も理解を深めることができた。また、生徒に対して体のことで悩んだ時の相談先の1つとして泌尿器科があることを提示できた。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*養護教諭・保健体育科と連携し、生徒の実態を踏まえて、それぞれの点からお話いただきたいことを企画書としてまとめることができたため。企画の立案から実施まで組織で取り組むことができた。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
有効でなかった

<その理由>

*学区内の病院ということもあり、企画の段階から病院側の担当者と連絡を密にすることができたため。

〔受講者の感想など〕

- 男女で脳の考え方に違いがあることを知ることができたのでお互いを認め合っていくことが大切だと思った。
LGBTのことにについてなんとなく知っていたが、今回の講演を聞いて詳しく知ることができて良かった。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 保健体育(保健分野) 理科(生物分野) 社会科(公民分野)